

2021年1月14日

宛 枚方市長

平和で豊かな枚方を市民みんなで作る会

新型コロナウイルス感染症対策を求める緊急要請

新型コロナウイルスの感染急拡大は留まることを知らず、国内で確認された感染者が、30万人を超えました。1週間で4万3000人増え、増加人数が前週を上回るのは15週連続です。大阪も、全国で最も多い死者を出し、病床使用率は高止まりを続け医療体制は逼迫しています。同様に、枚方市も新規感染者が、連日2桁(20~30人)増え続け、死者の累計は20人を超えています。

政府は、11都府県に、緊急事態宣言を発令しました。しかし、緊急事態宣言では感染拡大は防げません。感染急拡大を抑えるには、PCR検査を徹底して陽性者を早期発見・追跡し適切な医療体制の下に置くことです。緊急事態宣言や罰則でなく、休業、仕事喪失に伴う補償・直接給付、医療と公衆衛生の拡充が必要です。

クラスター分析資料から、医療・福祉施設でのクラスター件数が45%、感染者数では61%を占めることが明らかになっています。枚方市の実状からも見ての通りです。全国の自治体では、PCR検査拡充等独自の対策が進められてきています。特に、この第3波と言われる感染急拡大の中で、高齢者施設、障がい者施設の職員と入居者対象に、無症状者からの感染拡大をとめる対策がとられてきています。枚方市も、国・大阪府の指示(財源)を待つのでなく、お願い要請するだけでなく、早急にPCR検査拡充、生活補償・休業補償の給付が必要です。

枚方市の財政は黒字であり、コロナ禍に対応する検査・医療体制の拡充を図る財源は十分にあります。例えば、財政調整基金は、2020年度で100億円あります。12月、枚方市は新型コロナ感染対策第10弾として約1億7700万円を予算化しましたが、コロナ対策として最も必要なPCR検査拡充のための予算は約1000万円にすぎません。市駅周辺再開発ではなく、市民の命と健康を守るためにこそ財政調整基金を使う時です。今こそ市民の命と生活を守るための対策を早急に行ってください。以下要請します。

1. 市民全てを対象に「いつでも どこでも 何度でも」公費でPCR検査を行うこと。
2. 感染者に必要な医療と無症状感染者に適切な医療体制を保障すること。そのために、病床・医療従事者を確保すること。

平和で豊かな枚方を市民みんなで作る会

枚方市大垣内町2丁目8-27

シンエービル別館A号室(市民の広場「ひこばえ」)

電話/FAX 072-846-8780 アドレス: hirakatasiminokai@yahoo.co.jp

連絡先: 松田久子(090-9705-5921) 高松昌子(090-7096-4719)

各地の自治体を実施するコロナPCR検査の例 2020/12

東京都・墨田区	高齢者施設と障がい者施設の職員と入所者、通所施設の職員、230施設の5000人
東京都・千代田区	①特別養護老人ホーム、グループホーム、ショートステイ7施設約430人に3か月ごと。②通所介護、地域密接型通所介護、経費老人ホーム、訪問介護、訪問リハビリテーション、小規模多機能型居宅介護、居宅介護支援の50社300人に年4回。
東京都・江戸川区	高齢者及び障害者の支援施設・事業所や、幼稚園・保育園・小中学校に勤務する職員約2200人。
千葉県・市川市	65歳以上の全員
福岡県・北九州市	介護施設と障がい者施設約340か所、入所者と職員計約29000人、1人3回。
福岡県・福岡市	介護、医療従事者などに1人3回の検査、延べ116500人。
沖縄県	介護サービス事業所・施設で利用者と接する職員、一人当たり月1回
寝屋川市	特別養護老人ホーム、障がい児者入所施設、22か所の従業員約1000人、2週間に1回。
枚方市	介護施設・障がい施設の新規入居者に検査・希望者のみ(660人)